

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）  
法人単位事業活動計算書

（自）平成30年4月1日 （至）平成31年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	電話相談事業収益	10,087,483	10,162,367	-74,884
	経常経費寄附金収益	0		0
	その他の収益	0		0
	サービス活動収益計(1)	10,087,483	10,162,367	-74,884
	人件費	2,984,464	2,834,191	150,273
	事業費	2,244,355	1,882,773	361,582
	事務費	3,564,415	2,918,050	646,365
	減価償却費	1,649,668	1,902,489	-252,821
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-1,064,320	-1,339,467	275,147
	サービス活動費用計(2)	9,378,582	8,198,036	1,180,546
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	708,901	1,964,331	-1,255,430	
サービス活動外の部	受取利息配当金収益	3,043	4,119	-1,076
	サービス活動外収益計(4)	3,043	4,119	-1,076
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	3,043	4,119	-1,076
経常増減差額(7) = (3) + (6)	711,944	1,968,450	-1,256,506	
特別増減の部	施設整備等補助金収益	0	954,000	-954,000
	特別収益計(8)	0	954,000	-954,000
	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	954,000	-954,000
	特別費用計(9)	0	954,000	-954,000
特別増減差額(10) = (8) - (9)	0	0	0	
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	711,944	1,968,450	-1,256,506	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	20,018,835	18,050,385	1,968,450
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	20,730,779	20,018,835	711,944
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	20,730,779	20,018,835	711,944